

令和7年度前期日程入学試験問題

小論文 C

教育学部

学校教育教員養成課程

言語・社会教育系 社会選修

注意事項

- ① 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ② 問題冊子は、3ページ(表紙, 白紙を除く)です。試験開始後、確認下さい。
- ③ 解答は、別紙の解答用紙に、指定字数に従って、横書きで記入下さい。句読点は1字とし、ローマ字や数字は2文字以上の場合に1マス2文字とします。
- ④ 問1, 問2は解答用紙(その1)を、問3は解答用紙(その2)を用いて答え下さい。
- ⑤ 受験番号は、配付された2枚の解答用紙1枚ごとに指定の欄に記入下さい。

問題 次の文章を読んで、後の問1から問3のすべてに答えなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

(出典は、三谷博「二十世紀を超えて一日本の未来と近代の経験」、萱野稔人編『現在知 Vol.2 日本とは何か』NHK 出版，2014 年，282-285 頁。縦書きを横書きに改め，一部改変したところがある。)

問 1 近代日本の対外関係を考えるために、なぜ日露戦争ではなく、日清戦争を起点にする必要があると述べているか。問題の文章をもとに、150字以内で答えなさい。

問 2 近代日本の三十六年にわたる朝鮮支配や満州事変に始まる十五年の対中戦争に対する責任追及の声をほぐすために、何が必要であると述べているか。問題の文章をもとに、150字以内で答えなさい。

問 3 近代日本と戦争について学校の授業で取り扱う場合、どのような点が課題となるか、また教師はその課題を踏まえてどのように授業に取り組むべきか。あなたの考えを500字以内で述べなさい。